

# 僕にとっての旅とは？

- A. タイ (2013) : 辺境への憧れ、都市を歩く物足りなさを痛感
- B. オーストラリア・小笠原(2014) : 固有動物の保全環境を調査
- C. ブータン(2015) : 伝統家屋とコミュニティを調査
- D. 古民家巡り旅(2016)・卒論 : 日本全国の古民家巡り「古民家の価値とは」
- E. 東京-石川 500km徒歩 (2017) : 中山道沿いを歩行
- F. 世界旅 (2018) : 日本、台湾、中国、ベトナムの辺境旅、半年間生活。犬皆殺しの祭りなど。
- G. 東京-石川 500km徒歩 (2019) : 北國街道沿いを歩行
- H. 台湾 100km徒歩 (2019年) : 台湾原住民と日本政府の国境線だった道を歩行
- I. インド (2019) : 「ボノナー」に参加。3年に1度、現地ガイド&ドライバー手配、軍隊の関所、村人の生死により1週間以上日程がずれる、という稀な条件をくぐり抜ける。



## 未知に対する好奇心と衝動

- 辺境への旅 : **A**→**B**→**C**→**D**→**F**→**I**  
閉ざされた土地と文化を追い求める旅
- 過去への旅 : **E**→**G**→**H**  
原始へ到達する為の歩行, 未知の歴史を掘り起こす

人知が及ばない想像の領域

自然, 神, 祈り

ex. ガンガプンスム

第3の未知

# コロナ期間、近所での散歩は「社寺仏閣」に関心

多くの風景は  
ありきたりな物  
の集合体。

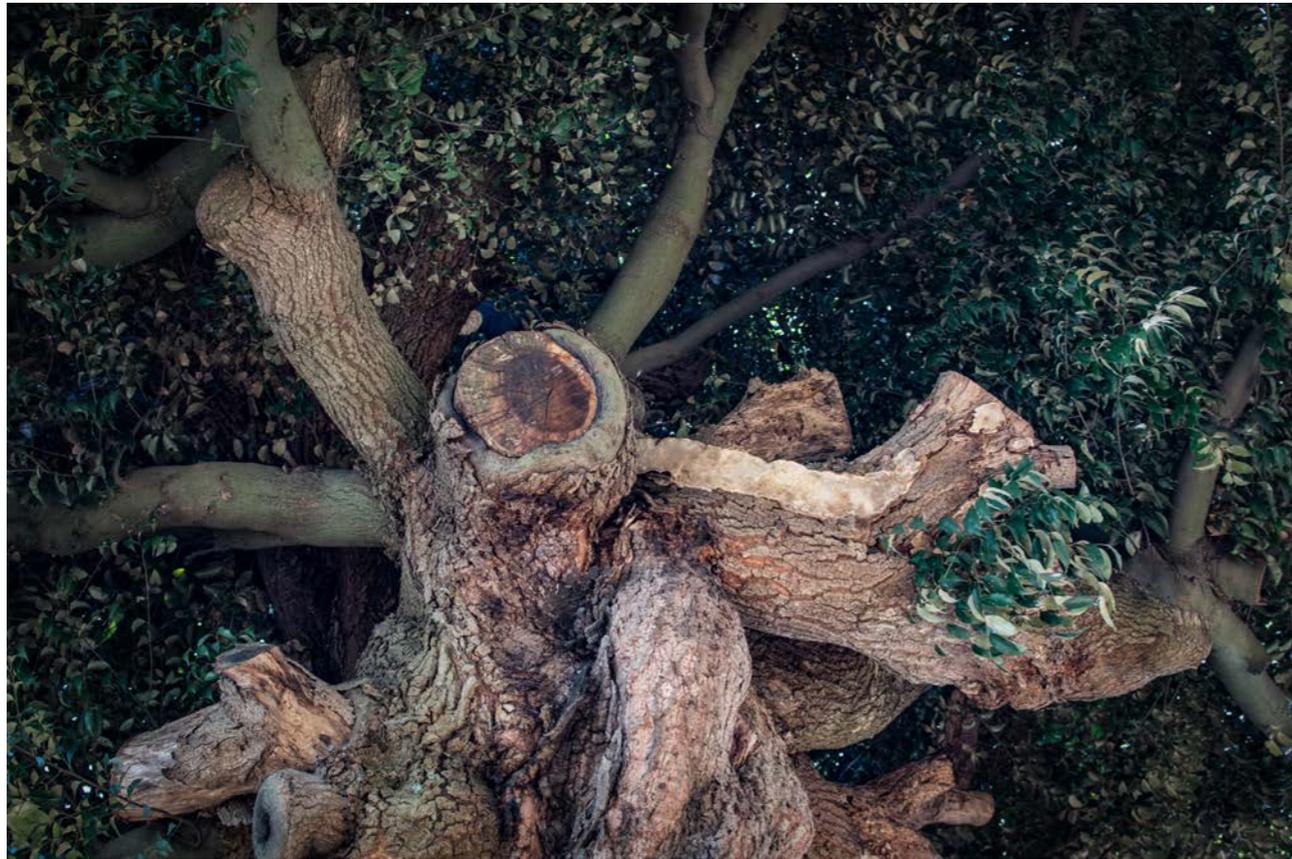
町が短期的に  
上書き保存され  
続けている状態



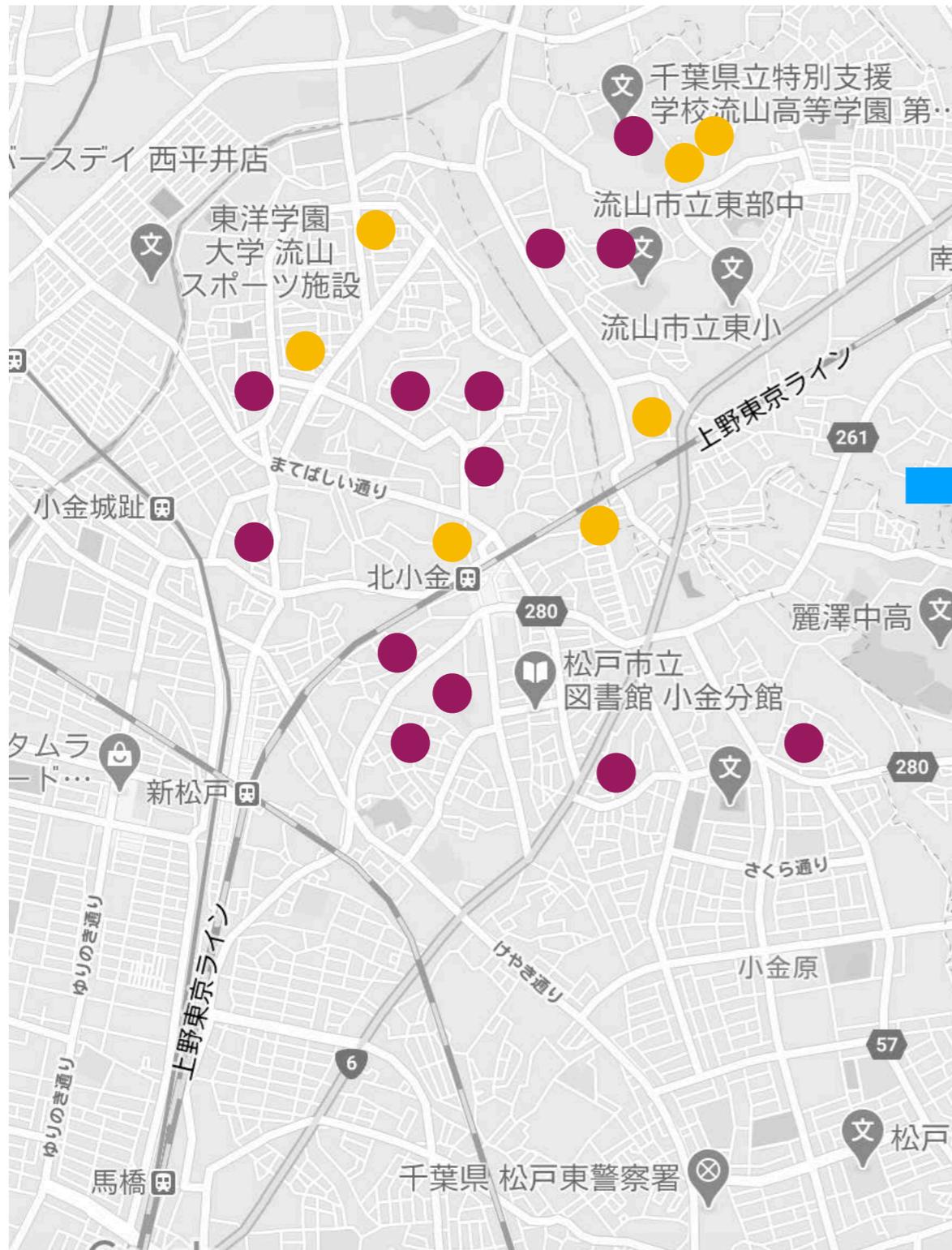
google mapを転用

- 神社
- お寺

- ・ 神社に伝わる信仰
- ・ 御神木や原始林
- ・ 地形
- 古代と接続する  
極めて限られた手段
- 地域の**本質的な支柱**  
に接続を可能にする



# 鹿島系の神社が多いことを発見



香取神社や雷神社と名乗る神社が多い

- 鹿島系神社
- その他の社寺仏閣

# 秋田「カシマサマ」と接続する感覚

タケミカツチ  
フツヌシの信仰



信仰の広がり ≠ 征服の歴史  
= 地域信仰の一体化

google mapを転用

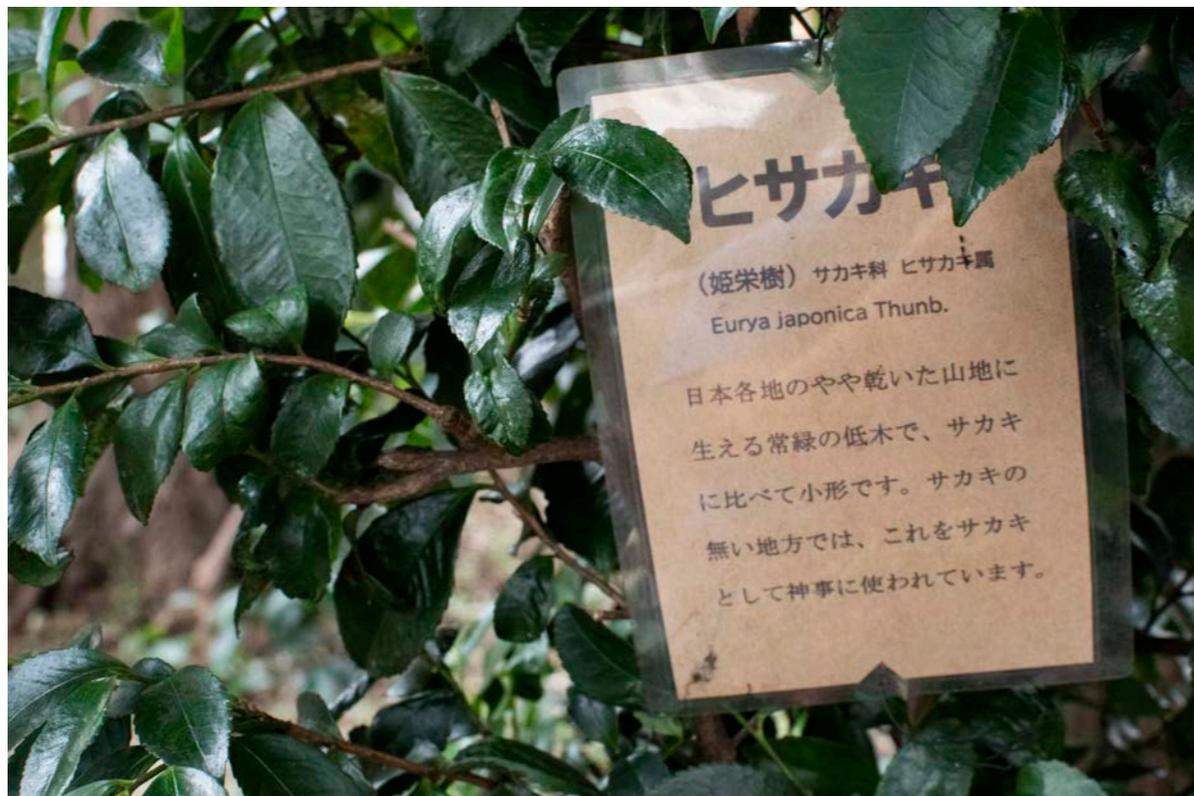
神社が地域の精神的な支柱。  
地域の人々の痕跡がそこにあるはず。











## ヒサカキ

(姫栄樹) サカキ科 ヒサカキ属  
*Eurya japonica* Thunb.

日本各地のやや乾いた山地に  
生える常緑の低木で、サカキ  
に比べて小形です。サカキの  
無い地方では、これをサカキ  
として神事に使われています。



神社名	基本事項	植生	構成物
香取神社	住所：千葉県流山市名都借1196 祭神：経津主神 創建年：平安時代初期 例祭日：10月20日	シイ, スギ (保存樹)	鳥居, 拝殿, 本殿, 馬頭観音, 板碑型の庚申塔, 力石, 社号標, 参道, 手水舎, 神輿庫, 狛犬, 奉結願庚申待○延命祈願, 奉造立庚申供養, 三猿, 富士嶽浅間大神, 従軍者の碑, 聖徳太子, 甲子講中, 灯籠×6, 手水舎, 灯籠, 掃除用具保管小屋, 神輿庫, 本殿, 倉庫, 社殿改築記念碑, 富士登山記念碑, 氏子中, 忠魂碑, 謎の門
香取神社	住所：千葉県流山市前ヶ崎620 祭神：経津主神 創建年：室町時代 例祭日：10月20日	シイ	鳥居×2, 拝殿, 本殿, 倉庫, 手水舎, 社号標, 参道, 石柱「奉献」×2, 奉造立青面金剛, 奉造立山王権現, 奉造立庚申供養, 庚申塔, 稲荷大明神×2, 道祖神, 山神宮×2, 社殿改築記念碑, 二十三夜塔, 御神燈, 灯籠×8, 手水舎, 天皇陛下御在位石柱, 御嶽神社, 諏訪之宮, 顕彰碑, 謎の神社, 大杉大神
香取駒形神社	住所：千葉県松戸市幸田3丁目159 祭神：経津主神, 駒形大神 創建年：不明 例祭日：無		鳥居, 拝殿, 手水舎, 狛犬, 参道
香取神社	住所：千葉県松戸市中金杉1丁目6 祭神：経津主神 創建年：不明 例祭日：無	スギ	鳥居×2, 燈籠×2, 手水舎, 拝殿, 柱に象と狛犬, 本殿, 大杉大神, 二十三夜供養塔, ○○供養塔, 青面金剛×2, 三猿, 敷石記念, 雷神社, 成田講, 社号標, 参道, 御嶽山岩戸大神, 馬頭観音, 御遷宮記念碑, 石段建設記念碑
鹿島神社	住所：千葉県松戸市殿平賀183 祭神：武甕槌命 創建年：不明 例祭日：無	サワラ, ヒサカキ, アカガシ, イロハモミジ, イヌツゲ, サカキ, サルスベリ, サワラ, サンショウ, シュロ, スタジイ, ソメイヨシノ, ネズミモチ, ヒイラギ, ムクノキ, モチノキ, ヤブツバキ	鳥居, 拝殿, 参道, 本殿, 灯籠×2, 大山阿夫利神社, 月参講中(成田講), 氏子中×2, 二十三夜塔, 駒形大明神, 手水舎, 青面金剛,
東雷神社	住所：千葉県松戸市東平賀226 祭神：雷大神? 創建年：1600年頃 例祭日：無	ソメイヨシノ	鳥居×2, 拝殿, 参道, 狛犬, 灯籠石造物(「氏子中」×2, 倉庫, 天照皇大神, 二十三夜, 御大典記念, 青面金剛×2, 奉造立庚申供養, 三猿, 阿夫利神社, 香取大神宮, 鹿島大神宮, 天満宮, 山神)
雷神社	住所：千葉県流山市名都借1196-3 祭神：雷大神? 創建年：不明 例祭日：無	シイ, スギ (保存樹)	鳥居, 拝殿, 参道, 馬頭観音, 馬頭観世音×2, 道祖神×2, 大神宮, 山王神社, 奉造立○○供養, 熊野三社大権現×2, 三峯神社, 聖徳太子, 青面金剛, 庚申塔, 御嶽神社, 女三夜供養, 第六天, 謎の門, 力石

# 石造物から紐解く地域コミュニティ

江戸から大正期を匂わせる石造物  
→コミュニティの拠点としての神社

**庚申信仰**：道教由来、神仏を拝んで徹夜の酒盛り

※猿＝申, 三猿が台座についてくる

**青面金剛**：道教由来、庚申の1つ

**二十三夜供養塔**：月を拝み悪霊を追い払う集まり

**馬頭観音**：密教やヒンドゥー教徒の繋がり

**富士登山記念碑**：富士山へ詣でるための富士講？

**従軍碑・忠魂碑**：地域の戦死者への葬い

**力石**：力比べ, となり村との接触

**甲子講**：豊作祈願の集まり、周辺に田畑の存在

**道祖神**：村の守り神（秋田はカシマサマ）



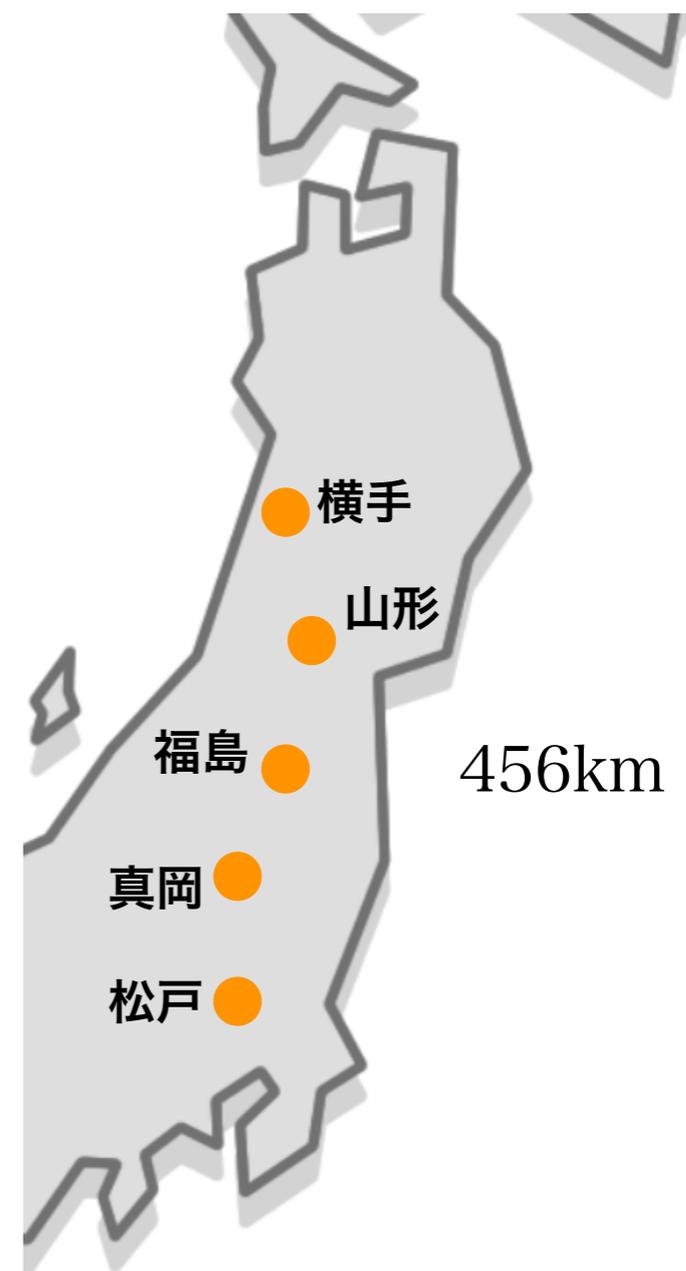
コロナ禍・これからの旅

# ふと、自宅から秋田県立近代美術館までの**456km**を歩きたくなった。

今と過去において時間と距離の感覚が違うことがこの旅を面白くさせるのだと思う。

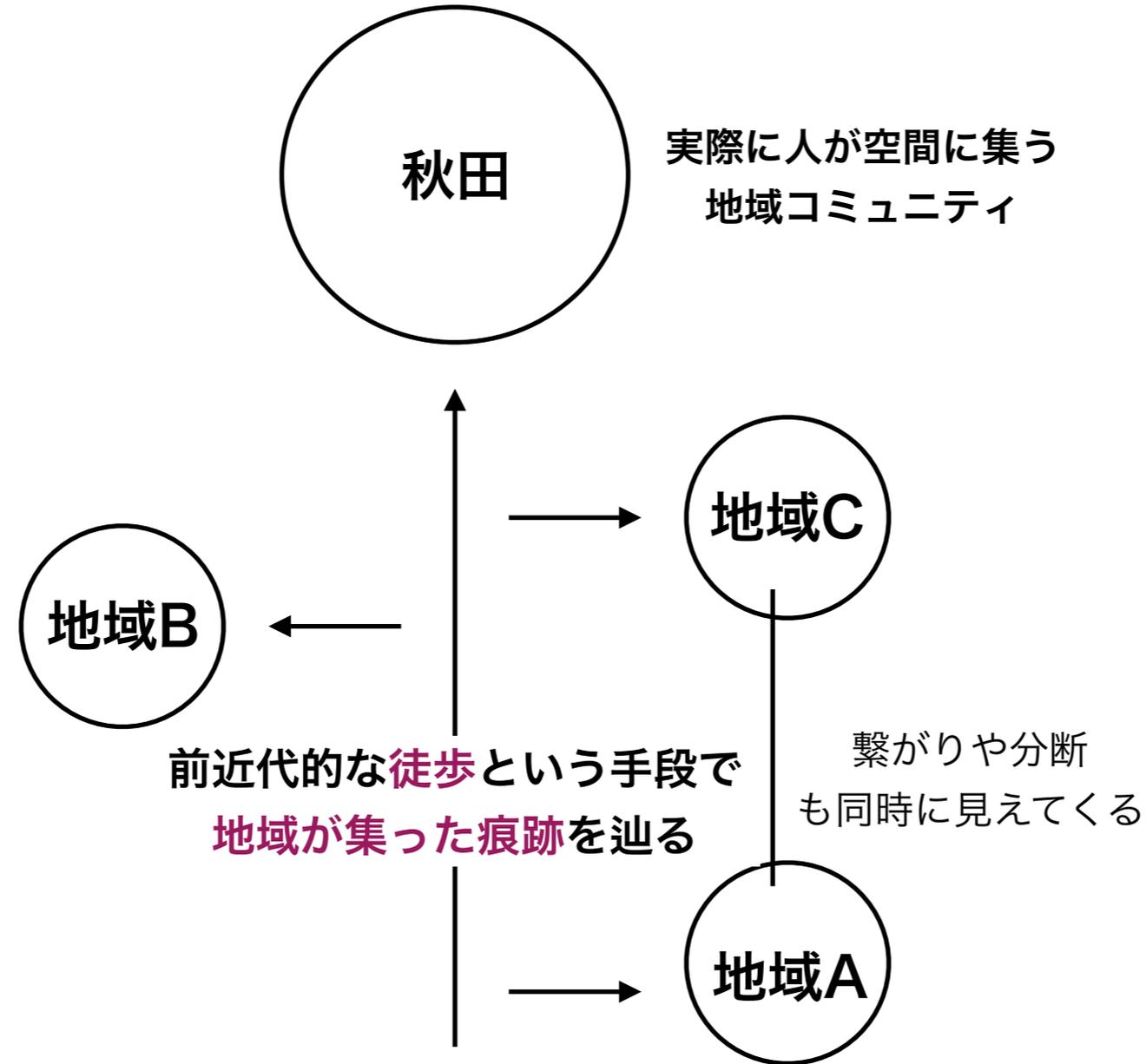
秋田に行きたい。そう思った時、江戸時代であれば、2週間かけて歩いただろう。しかし、現代では新幹線に2時間座るだけ。コロナ禍では、パソコンを2分で立ち上げるだけでたどり着けるのだ。過去へと向かうことで、「**新しい未知**」に出会えるのではないか。

コロナが今よりも少し鎮まったら。自宅から秋田まで2週間歩き、各地の「**地域の人々が集った痕跡**」を写真や文章で記録したい。



①自らが文化伝播の担い手になることで新しい地域が生成される

過去 = 未来?, 未知?



オンラインで作られた分散的な地域コミュニティ

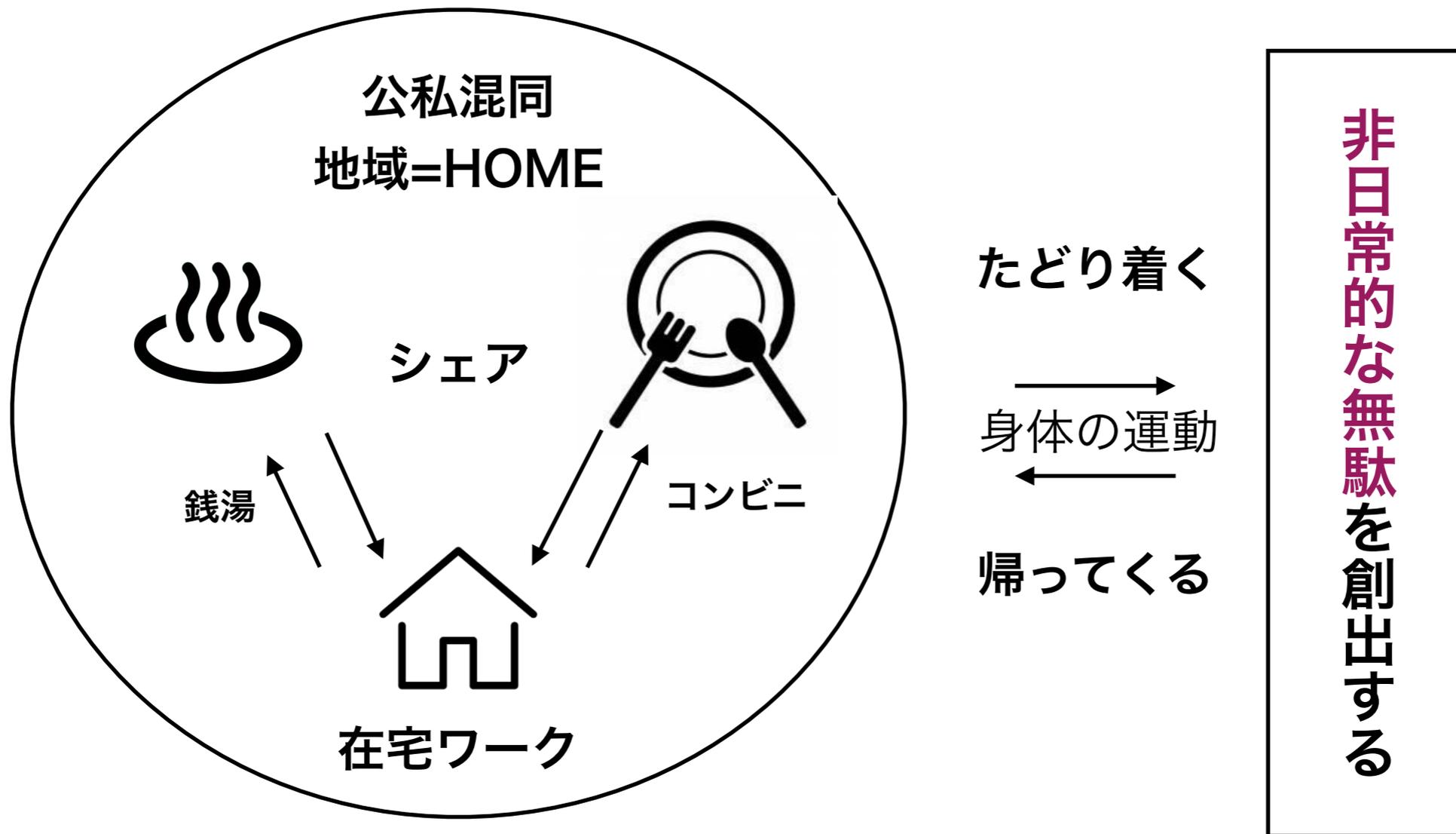
現在

対比構造が見えてくる

②プライベートという意識が浮き彫りにされる

# コロナ時代に2週間歩く意義

「たどり着く」と「帰ってくる」という楽しみを創出する。



コロナ禍における地域  
= 効率的日常の設計

生き甲斐が頭打ちを  
迎えるのでは？

**日程**：15日間を目安に1日平均30kmを歩行（日程未定, 2021年3月までに実施を想定）

**アウトプット**：秋田県立近代美術館に到着したら、写真や文章による旅の記録（完全な作品としてではなく、ノート1冊分の簡単な物）を紀行家・菅江真澄の創造性に着目する展覧会「ARTS & ROUTES -あわいをたどる旅-」の展示の隅に置かせていただきたい。

**持ち物**：フィルムカメラNikonF3, レンズNIKKOR 55mm F2.8, コダックエクター100×5, 日記帳とペン, リュック, **画質が良い携帯**, イヤホン, ANKER充電器, 充電コード, **テント**, 寝袋, 短パン, ジャージ上, ジャージ下×2, Tシャツ×2, ウインドブレーカー（紺）, サブバック, 私服の長ズボン, **ウォーキングシューズ**, マスク, **帽子**, メガネ, 非常食（ミックスマッツ・干し芋など）, スケジュール帳, 雨合羽, 靴下×5, 下着×3, レコーダー, 財布×2, Gopro, Gopro充電器

**日課**：日記を書く, 次の日に行く銭湯やテントを張る場所を考える, スマホでちょこちょこ仕事, 携帯でブログ「旅してみんか」の更新（Facebook, Twitterでシェアする）※URL：<http://ina-tabi.hatenablog.com>

**コロナ対策**：毎日マスクを着用, 個人宅に泊まらない

**予算**：食費 1日1500円×15日=22,500円/ 銭湯代500円×15日=7500円/洗濯代 500円×5=2500円

合計：32,500円



皆さんとお会いできるこ  
とを楽しみにしています。